

1月14日の成人式を迎えた二人の職員を紹介します。

新成人おめでとうございます。



大宮利那CW
1月13日に成人式を迎え嬉しい反面、大人としての責任が望まれるので身の引き締まる思いでいっぱいです。



菊地茜CW
成人式を終えて改めて成人の仲間入りだと実感しました。これからはこれまで以上に責任感を持った仕事に取り組んでいきたいと思えます。

春の野菜は栄養いっぱい!!

3月、4月は徐々に暖かくなり様々な春野菜が旬を迎えます。旬の野菜は、ビタミンなどの栄養価が高く、また甘くて柔らかいのが特徴です。

今回はその中でも新じゃがを紹介します。じゃがいもは通年出回っていますが、春に採れるものはみずみずしく柔らかく食べられます。また、皮も薄いので皮ごと食べられるのも特徴であり、この特徴を生かした料理もたくさんあります。ホームにある畑でも育てており、利用者さんと一緒に収穫をし調理を楽しんでおります。今回は利用者さんも大好きな新じゃがのレシピを一つ紹介します。

新じゃがのみそ煮っころがし

材料 (2人分) 新じゃが 300g、いんげん 30g、油 大さじ3、白ごま 大さじ3
A くみそ 大さじ1と1/2、砂糖 大さじ1と1/2、みりん 大さじ2と1/2

作り方 ①新じゃがいもは良く洗い、大きいものは一口大に切り、耐熱皿に並べて濡らしたペーパータオルをかぶせて約5分(500w)加熱する。
②フライパンに油を熱し、①といんげんを加えて炒め、Aを入れて味を調える。
③全体に火が通ったら器に盛り白ごまをふる。



新じゃがは皮をむかずに使うことで風味を楽しむことができます☆

管理栄養士 佐々木美砂

編集後記

今年度最後のゆうゆうだよりは、ロボット導入を特集しました。介護保険の目標である、『自立支援』と『重度化防止』を踏まえ、新しいホームの取り組みを掲載しました。これからも身近に感じていただけるお便りを編集し、次年度も編集委員一同心を込めてお届けいたします。

<ゆうゆうホーム行事広報委員会>

ゆうゆうだより

医療法人 金上仁友会

介護老人保健施設ゆうゆうホーム 平成31年3月号

各地から桜の便りが聞かれる季節となりました。ホームの皆さんも、温かな笑顔が溢れており、さまざまな活動を通して元気にリハビリテーションに取り組んでおります。

ゆうカフェ

毎月、第2木曜日に「You café」をオープンしています。地域の皆さんとご利用者さんが一緒に、軽い体操やおいしいお茶、おしゃべりに時間を忘れて楽しくひと時を過ごしています。

是非ご家族の皆様もご参加ください。



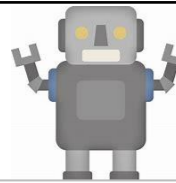
ペン習字ボランティア

2月21日に天神町行政区長の片柳一郎様を講師にお迎えし、2回目となるペン習字クラブをご紹介します。

今回は先生がペン習字を始めたきっかけや上手に書くコツを教えてくださいました。今回は、皆さんに見本を見せていただきながら、筆ペンで半紙にポエムや絵等を書き、アドバイスをいただき、夢中に取り組まれる姿はとても真剣でした。前回も参加された皆さんは、先生に積極的にコツ等を聞き、学んでいました。日頃書くことに慣れていない方もスムーズに参加され、表情はとても穏やかに取り組んでいました。

次回は色紙と筆ペンを使用した作品作りを予定しております。





ロボット導入！！



昨今の介護保険を取り巻く環境において、介護保険法の目標は「自立支援」「重度化防止」と大きく掲げられました。ご利用者がより自立した生活を送っていただくために、できる活動はできるだけ自分で行っていただけるよう、日常生活の中で実現したい目標に沿って、運動や生活動作の練習、ご自宅での実践など一人一人の目標に沿ったリハビリを提供していきます。その一環でもある導入したロボットたちをご紹介します。

aibo(アイボ)

aiboとは犬型のロボットです。主にご利用者とのふれ合いや癒しの効果があり、コミュニケーションの和が広がっております。
aiboには『ゆうくん』と命名。ゆうくんと呼ぶと鳴いたり、お座りをするなど多彩な動きをとります。



TANO(タノ)

TANOはテレビ型のモニターで、カメラ・マイク・スピーカが搭載されています。映像による脳トレ(四文字熟語、漢字の読み当て)や画面にあわせて身体を動かす・声をだすといったリハビリを行う事ができます。皆さんの心身の活性や自然と体を動かす全身運動の効果を図る目的で取り組んでおります。



SOTA(ソータ)

多くの機能を搭載しているSOTAは、会話モードと、レクリエーションの機能をメインに使用しています。会話モードではSOTAが音声を認識し、会話することができます。インターネットと併用すれば、テレビ画面を使用しレクリエーションを楽しむことができます。西・東棟の各フロアにそれぞれ1台ずつ設置しています。



パロ

セラピー用アザラシ型ロボット『パロ』。「めん子ちゃん」「ももちゃん」「さくらちゃん」等それぞれに名前を付けて可愛がっています。



パペロ



音声ガイドをしながら、言語聴覚療法の一環として、“ことばを話す”トレーニングを支援するロボットです。

COGY(コーギー)



インカム



職員間の連絡ツールとして伝達の抜けなどが無くなり、重宝しています。

歩行困難な方でも、自身の両足でペダルを漕ぎ自由に走り回ることのできる最先端のチェアサイクル(足こぎ車いす)